

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【茨城県】

|               |   |
|---------------|---|
| 1 実践テーマ       | 【II・III・IV】   |
| 2 実施対象者       | つくば市立二の宮小学校<br>1年生～6年生（約680名）   |
| 3 展開の形式       | (1) 学校における活動<br>① 教科名（ 小学校全教科 ）<br>2 行事名（ ）<br>3 その他（ ）<br>(2) 地域における活動<br>1 イベント名（ ）<br>2 その他（ ）   |
| 4 目標<br>(ねらい) | OGOAを明確にした教科横断型のカリキュラムの作成と実践<br>本校の課題は、地域性による関係性の薄さにより、自己有用感が低く、高学年になるにつれて周囲の反応が気になり、学習に集中できなかったり、自分の意見を発表することに自信を持てなかったりしていることである。そこで、今年度は、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の構築や教科横断型のカリキュラムを作成し、児童が協働的に学び合い、高め合いながら学びを深める態度を育成する。   |
| 5 取組内容        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・I'm POSSIBLEを活用した授業実践（3年～6年）</li> <li>・シッティングバレー授業の実施（6年）</li> <li>・シッティングボールゲーム授業の実施（3～5年）</li> <li>・道徳授業の実践（全学年）</li> <li>・国語授業の実践（全学年）</li> <li>・音楽授業の実践（含：古典芸能【能】鑑賞 全学年）</li> <li>・ハンドボール教室（4年）<br/>※協力 筑波大学<br/>講師 元ハンドボール日本代表選手 浦和克行さん（保護者）</li> <li>・パラリンピック日本代表選手講演（4年～6年）<br/>講師 元ウィルチェアラグビー日本代表選手<br/>三阪 洋行さん<br/>※体験教室（5年）</li> <li>・ストレッチ教室（全学年）※協力 筑波大学</li> <li>・TOKYO2020 マスコット投票（全クラス）</li> <li>・ユニバーサル・ラン義足体験授業（6年）<br/>講師 井上 友綱さん 山下 千絵さん（パラ100m選手）</li> <li>・ボランティア活動の実施<br/>あいさつ運動、花壇づくり、学校清掃・整備作業、いじめ撲滅運動</li> </ul> |

|                          |  |
|--------------------------|--|
| 6 主な成果                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 各種の事業により，児童のオリンピック，パラリンピックへの興味・関心の高まりがみられ，マスコット投票の話合いなども全クラス意欲的に行われた。</li> <li>• 道徳の授業においておもてなしの心や協力・おもいやりについて学んだことにより，児童の自主性が高まり，協力的にボランティア活動に参加する児童が増えた。</li> <li>• 国語・音楽の授業実践により，日本古来からの文化や芸術に触れ，日本人としてのよさやほこりを十分に感じる事ができた。</li> </ul>   |
| 7 実践において工夫した点<br>(事業の特色) | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 教科横断型のカリキュラムを作成し，多くの教科・領域においてオリンピック，パラリンピックを意識した授業を展開し，児童の協働性を高めることを中心に実践した。</li> <li>• ハンドボールやウィルチェアラグビーの元日本代表選手の来校，講演は児童の興味・関心を喚起するための良い機会となった。</li> </ul>  |
| 8 主な課題等                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 本校でのカリキュラムの実施は，本年度を含めて3年計画である。来年度以降の日本代表選手等の確保が難しいため，事業が継続できない。</li> </ul>  |
| 9 来年度以降の実施予定             | <ul style="list-style-type: none"> <li>• I'm POSSIBLEを活用した授業実践（3年～6年）</li> <li>• シットイングバレー授業の実施（6年）</li> <li>• シットイングボールゲーム授業の実施（3～5年）</li> <li>• 道徳授業の実践（全学年）</li> <li>• 国語授業の実践（全学年）</li> <li>• 音楽授業の実践（含：古典芸能）</li> <li>• ハンドボール教室（4年）<br/>※協力 筑波大学<br/>講師 元ハンドボール日本代表選手 浦和 克行さん（保護者）</li> <li>• ストレッチ教室（全学年）※協力 筑波大学</li> <li>• ボランティア活動の実施<br/>あいさつ運動，花壇，学校清掃・整備作業，いじめ撲滅運動</li> </ul> |